

## 再びマトリックスへ ~ 解き放たれたイマジネーションと学び合いの連鎖のなかで ~

有限会社 カヤ 平井良信

### はじめに

「あなたへ」シリーズを使った授業は3年目で今回が4クラス目である。これまでの小論の表題は、

気づきからはじまる知の深化とマトリックス的關係

みんなで作るシナリオのないドラマ ~ “劇場化”する教室~

みねワールドの真実 ~ 「学び合い」への道、n次元連立方程式の解を求めて~

である。

一貫して私のテーマは、教師の変容である。もちろんクラスの子もたちとの関係においての変容も包含している。では、子どもたちが始めて考えたことで発見があり日々成長していく中で、子どもたちや教師との関係性において総当たりの学び合いを論じ、では、教師が始めに意図した流れを子どもたちが軽々と越え構築されていく学び合いの世界に注目した。そしてでは教師の強い願いが実現しつつあるプロセスのなかで、教師自身の大きな変容の基になる発見をすることを表出させた。

そして、今回はどのような展開になったのか。いままでの展開・体感を踏まえて担任教師と子どもたちとの真摯な関係を中心に、彼が今回の授業に何を期待し何を掴み変容したのかを検証する。

### 絵本「あなたへ」シリーズの深層には

この絵本は極限まで虚飾をそぎ落とされた短かい言葉と表現力豊かな力強いイラストで構成されている。それは子どもから大人までの鑑賞に応じて自由な想像力を喚起させるものである。

ここで訳者の本の紹介を記載する。「この本はスウェーデンで生まれました。日々の暮らしの中のささやかなちいさい感動を見逃すことなく伝えてくれるそんな本です。生きることがつらい時そっと手にとってください。愛と希望と勇気と夢があなたの中にふくらんでいきますように。」

この絵本は、読み手がいつの間にかその絵本の世界に入ってしまったような魔法のような力を持っている。無意識のうちにそうになってしまうのである。視覚から入ってくるイラストの情報と文字を読むという行為によって想像する中で、融合された何かが蠢く。奥の奥の記憶を呼び覚ますように。それはまるで太古の時代から嘗々と引き継ぎされてきたDNAの片隅の記憶に語りかけているようでもあり懐かしい安らぐ気分させる。さらに根源的な問いを発しているにも関わらず読み手を問い詰めるのではなく、強く抱きしめてやさしく許す。つまり、作者や訳者によって文字やイラストに込められた思いや願いが押しつけられるのではなく、読ん

だ瞬間読み手のイメージの世界の中で解放されたように自由に飛び回り出す。そして、彼らの中に新しい感情の起伏をもたらすのである。そのことの繰り返しによって、子どもたちや教師をも巻き込み非日常的な昂揚感の中で次々と湧き上がる気持ちを抑え切れないのである。

そのような状況で生み出される彼らの言動は自由度を上げ、次々と周りへと繋がっていく。つまり学び合いやすい環境を創出しているのである。エネルギーを得た起電状態の電子が動いて電流が流れるように。(別の言い方ではあたかも水面を自由に動き回るアメンボのように)

### 学び合いへ、気づきのなかで

担任教師の事前の授業構想は、『自分のことを見つめ、そこから他者との関わりや相手のことを考えられる他者理解につなげ、最終的には自分のよりよい生き方につながるような授業』であった。

その構想を実現するためにしっかりと構築された「指導案」という流れを淡々と進めて行く。そして「絵本の内容がわかりやすく、子どもの心の中の良心を目覚めさせていくのに適していると感じた。」とあるが、授業の経緯の中で違和感を持つ。それは、絵本がわかりやすいのではなく、子どもたちにも充分届く本質に迫るものがあるということである。イラストが、言葉が、それらの流れが彼らを揺さぶる。いろんな方向から。そして、彼も気づいていく。

岩井伸夫(2008) 絵本の授業を振り返って(非公開資料)より

- ・子どもの反応がいいなと感じた。絵本の魅力を感じ取っているようだった。
  - ・KくんやSくんのくいつきがいいのに正直驚いた。というのは、道徳の授業に対してはあまり乗り気でない二人が絵本の授業では素直に感じたり、絵本の内容を考えたりしていたからである。
  - ・1回目の授業と違って、いろんな子が手を挙げて発言していた。前回と違って、活発さが出てきていた。
  - ・女の子の発言やワークシートの中で、本質をとらえているものがあった。
  - ・教師側がもっと子どもへの発言に対してつつこんでいければよかったという反省があった。
  - ・友だち関係で悩むことが多いこの時期の子どもたちにとって、この絵本の主題が心に響いたものと思われる。
  - ・今まで学校生活で真面目にしてこなかった子がいて、その雰囲気にもまれていたクラスで「ともだち」についてこれほどまでに真剣に議論ができるとは予想していなかった。
  - ・前向きなクラスの子どもたちに変容していったように思う。
  - ・この授業をもとに絵本の内容と実生活を結びつけて考えるきっかけになった。
  - ・クラス全員が「自分は大切なんだ」ということにすごく共感したようだ。
  - ・書いているものをみたら、結構素直な気持ちを表現していた。
- 等々と変容していく痕跡がある。

また、端的にこのようにも感じている。

岩井伸夫(2007・2008) スウェーデンの教材「あなたへ」を活用した授業 総合(心の授業)学習指導案5(非公開資料)より

・「ともだち」の授業感想では「友だちがいないから、今日の内容はわからなかった。」と書いていた児童の変容ぶりに驚いた。絵本の持つ魅力や友だち同士での交流により、児童の心の中に自己肯定感をよびおこしたものとする。

教材である絵本はあくまでもそのような状況を創り出したのであり、その先は子どもたちと教師の協同作業なのである。そしてこの学びは彼らの記憶に留まるだけでなく、確実に心の底辺に定着していくのである。

### おわりに

担任教師が意図したことかどうかは別であるが、彼自身の中に新しい「学び」の概念が誕生したことは確かである。教材としての絵本に関わった子どもたちによって解き放たれたイマジネーションと学び合いの連鎖のなかで、教師も子どもたちや絵本との学び合いというマトリックスの中に組み込まれていったのである。いや教師の中でも作者、訳者そして子どもたちのイマジネーションは解き放たれたのであろう。

彼が今回の授業を通して得た何かを、これからの教師活動に生かされることを切望すると共に期待したい。

### 参考文献

- ・二文字理明・深谷馨・平井良信・濱内麻里・張 雅・近藤久史（2007）  
スウェーデンの教材「あなたへ」を活用した根元的価値形成の授業研究（ ）  
- 授業実践の基本構想と事例研究（その1）の概要 -
- ・二文字理明・平井良信・東泰弘・藤原翔子・松田義康・松山倫子（2008）  
スウェーデンの教材「あなたへ」を活用した根元的価値形成の授業研究（ ）  
2つの光の中に浮かび上がる授業研究(その1) - 参与観察者から見た教師と児童の変容 -
- ・二文字理明・平井良信・藤原翔子・松田義康・松山倫子（2008）  
スウェーデンの教材「あなたへ」を活用した根元的価値形成の授業研究（ ）  
あなたへシリーズに出会った子どもたちが培り出した嶺村先生の世界 授業研究（その2）  
- 参与観察者から見た教師と児童の変容 -
- ・岩井伸夫(2007・2008) スウェーデンの教材「あなたへ」を活用した授業 総合（心の授業）  
学習指導案1～9（非公開資料）
- ・岩井伸夫(2008) 絵本の授業を振り返って（非公開資料）
- ・授業観察記（2007.6.12～10.25）(非公開資料)
- ・授業記録 DVD（2007.6.12～10.25）(非公開資料)
- ・西川純（2005）「静かに！」を言わない授業 東洋館出版
- ・西川純（2006）学び合う教室 東洋館出版
- ・岸見一郎（2007）アドラー心理学入門 KKベストセラーズ